

広報

やさと

76/3

—町の人口—

	3月1日現在	前月比
男	13,907	0
女	14,189	0
計	28,196	0
世帯数	6,052	+ 2



火事だ！ それにげろ

春の火災シーズンをむかえ、3月6日、瓦会保育所（園児51名）で避難訓練が行われた。

「黄色組のストーブから火事だ」というマイク放送に、子供達は先生の誘導に従い一目散に運動場へ。人数が確認され、1分たらずのうちに子供達は保育所の外へ避難した。

保育所の避難訓練は毎月定期的に行われているものだが、町では、ことし早くも一人の犠牲者が出ている。

一人一人が火の恐ろしさを自覚し、火災の防止に努めましょう。

今月のみどころ

10年後の町はこんなふうになる……	2・3 P
ゴミ処理場操業はじまる……	4 P
瓦会でも機械化が実現……	5 P
猪内にダムは作られるのか……	6・7 P
（青年議会）	
林保育所完成……	6・7 P
写真サロン……	8 P
ぼくらのクラブ活動（恋瀬小）……	9 P
町の伝説・やさと文芸……	10 P

10年後の町はこんなふうにー

基本構想のあらまし (1)

去る十二月二十三日の町議会定例会において、町の将来像を描き出す基本構想が議決されました。

この基本構想は地方自治法の規定により、計画的な行政の運営をはかるために定められたもので、これからの町政をより長期的展望のもとに立案されたものです。

町では、これまでに田園都市建設計画、農業振興地域整備計画など幾多の計画を策定して、その成果を上げてきましたが、この度の基本構想はこれらの諸施策を総体的にとらえ、行政全般に亘るものとして策定されたものであり、今後の各分野の振興計画、具体的施策などはこれら構想との調整を保ちつつ進められます。

なお、この総合計画樹立にあたっては、町内の各種団体代表、学識経験者、議会代表など二五名の方々に内容の審議を依頼、昭和49年9月より計八回の審議会を開催するなど、慎重に検討が行われ、立案されたものです。

町の人口は、町村合併以来減少化をたどってきたが、近年における経済情勢の悪化により転出動向は鈍化しており、むしろ若干ではあるが逆に増加の傾向にある。

町民の皆様のご協力をお願いいたします。

計画の概要を二回に分け、お知らせいたします。

計画の基本的指標

年々宅地化が進む園部地区 (東成井にて)



今後の宅地開発などを想定した場合、昭和六〇年次には三三、六〇〇人の人口が予測される。

土地利用計画

従来より基礎産業である農業を主体とした土地利用が進められ、優良農用地として全面積の約三〇パーセントが占められており、これからも全体的にほぼ一定の面積が継続的に農業用として利用されるものと思われる。

土地の効率的利用をはかるため、地域の特性を十分にふまえ、自然景観の保全と時代のすう勢にに応じ流動性のある土地利用を推進する。

(1) 柿岡地区は中心地を商業地域として発展させ、周辺地の一部を住宅地及び工業用地とする。

(2) 小幡、芦穂、恋瀬、瓦会、小桜の各地区は水郷筑波国定公園及び吾国、愛宕県立自然公園など筑波山系の山ろく部にあり、農業の応用として観光農業の振興をはかり、部分的に大規模農道を主軸とする山林原野の開発も配慮し、自立経営農家の育成をはかる。

(3) 園部、林地区は都市化の影響

簡易水道も全町に普及の方針 (鯨岡の浄水池)



を最も強く受ける地域とし、宅地化が一層進むものと予想されるので、都市近郊型の農業経営を推進し、併せて計画的市街地の形成に努め、立地条件を考慮して一部区域に企業誘致をはかる。

水利用計画

水は、住民生活や産業の発展に欠くことのできない資源であり、地域開発の基盤をなすものである。今後、地域開発、産業振興を円滑に推進するため現在の水資源を合理的に活用し、また国営石岡台地水利事業及び霞ヶ浦用水事業による水資源によって使途別の高度利用をはかる。

生活様式の高度化に対応し

生活基盤の整備

道路の整備

町道の整備は、年次計画により改良舗装が進められ、集落間を結ぶ幹線道路の整備を積極的
に実施しているが、さらにこれ
を継続的に実施し促進する。

農道についても、基盤整備事
業により逐次改良舗装を行う。
県道においては、一部未改良
未舗装路線があり、整備促進を
はかるよう関係機関に強く要望
するとともに、大規模農道、常

磐高速道との有機的な関連道路
の整備をはかる。

なお、観光需要の増大にとも
ない観光道路の整備を促進する。

簡易水道の整備

地下水の規制を配慮し、衛生
的かつ恒久的な水資源の確保に寄
与する霞ヶ浦用水事業との関連
をふまえ、全域的に水道施設の
整備をはかる。

ゴミ・し尿 処理施設

ゴミ処理について
は、八郷・出島・千
代田・新治の四町村
で構成される新治地
方環境衛生組合が設
立され、昭和五十
一年四月より処理可
能となる。

なお、し尿処理施
設も八郷・石岡・千
代田・玉里・出島の
五市町村共同で構成
する湖北環境衛生組
合による施設の拡充
事業が、五十一年五
十二年度の二カ年継
続で進められ、五十

二年二月完成の予定であり
ゴミし尿処理問題について
は広域行政事業で解消され
る。

消防体制の強化

消防体制の強化と予防消
防に対応するため、現消防
団の組織強化と機械器具な
どの施設整備を一層促進さ
せ、地区組織のなかで防火
思想の普及高揚に努める。
また、消防行政の充実と
救急業務の完全実施をはか
り、尊い生命を守るため広域行
政事業による常設消防署の設置
を、長期展望に立って推進する。

交通安全対策

道路網の整備に並行して交通
安全施設を整備し、交通安全協
会を中核として交通指導を強化
する。

また、学校その他の団体組織
を通して、交通安全思想の高揚を
はかる。

公害対策

特に畜産による汚水、臭気な
どの公害問題が深刻化しており
これらの対策として国・県の補
助体制のもとに畜産の団地化を
はかり、汚水処理施設、家畜し
尿有効利用など、畜産経営の環

大規模農道の完成も間近に（太田地区にて）



宅地開発と整備

境整備事業を推進する。
また、企業及び住宅造成によ
る廃液、雑排水の公害を厳しく
規制し、未然に防止する。

宅地の乱開発を防止し、質の
良い住宅環境を形成するため、
民間資本の適切な誘導と活用を
はかり、計画的市街地開発を行
うことによって公共投資の効率
を高める。

総合体育施設を建設して

教育環境の整備に努力

教育文化の振興

社会開発の根源は教育にある
という理念のもとに、生涯教育
の観点から学校教育はもとより
社会教育、家庭教育などあらゆる
分野において教育環境の整備
に努める。

(1) 小学校の老朽化校舎を鉄筋校
舎に改築し、プールの設置及
び体育施設の建設を年次計画

のもとに推進する。
(2) 町民の健康維持と体力向上を
促進し、複雑化する日常生活
からくる心身の疲労回復をは
かるため総合体育施設を建設
し、併せて社会教育活動を通
して豊かな人間関係を形成す
る。

(3) 社会活動の拠点となる公民館
の整備を促進する。
(4) 文化財の保護体制を確立し、
芸術文化の育成に努める。

ゴミ処理場操業はじまる 4月から収集方法もかわります



このほど八郷、千代田、出島新治の四方町村で進められていた広域ゴミ処理場（新治地方環境衛生組合焼却場）が完成し、四月から運営されることになり

ました。

これまで、町では芦穂地区にゴミ焼却場を設けていましたがやはり埋立て方式による処理方法では、衛生面などいろいろな問題があり、同様の悩みをもつ隣接の四方町村によって、この度の本格的処理能力をもつゴミ処理場が建設されたものです。新しいゴミ処理場は、焼却炉が四基設置され、一日に八〇トンの処理能力をもっており、八

億七千四百万円のお金が入り、一昨年の十一月から二年がかりで作られたものです。

四月からは、次の要領でゴミ収集業務が行われます。明るく住み良い町づくりのために、みなさんのご協力をお願いいたします。

収集の方法

1 ゴミは可

有明中で 立志式が



節分の日の二月四日、有明中学校で第一回立志式が開かれた。この立志式は、二年生一〇七名を対象としたもので、十四歳になった生徒に祝福を送り、生徒それぞれの心の中に将来についての自覚を深め、自己を確立させる一つの転機を与えようとして企画されたもの。

式は、学校長及び来賓からの励ましのことが始まり、生徒代表の誓いのことは、そして恋瀬中を卒業し、酪農を営む大増の岩田政雄さんやNHK青年の主張で県代表となった友部京子さんから体験発表や励ましのことがあった。

つづいて、生徒会主催による抱負発表会や生徒の作詞、作曲

に決められた集積所に出してください。収集日以外は搬出しないうようお願いします。

ゴミの容器について

1 ゴミ容器は、必ず組合指定の容器（可燃物は紙袋、不燃物はビニール袋）を使用してください。

2 紙袋に入れるゴミは、水分を良く切って、入口をヒモで完全に結び搬出してください。

3 組合指定以外の容器を使用した場合は、収集いたしません。

4 ゴミ容器の袋は、環境衛生課、区長、部落（自治会）組織、指定小売店で一部二十五円で

による「こぶしの仲間」の歌の発表が行われ、最後に、校庭の一隅に立志式の記念樹「こぶし」の木が植えられ、式が閉じられた。

とくにこの「こぶしの木」は、二年生全員が廃品回収を行い、自からの手で資金を作り購入したとのことである。そして「こぶしの木に寄せる」詩の朗読や一握りの草木灰を生徒一人一人が根もとに施すなど、願いをこめて植樹された。

生徒たちにとって、立志式というものが思春期に入る時期でもあり、刑法上の罪でも一つの区切りとなるところから、大きな意義があったと思われる。

配布します。

収集手数料について

1 ゴミ収集車の利用は無料です。
2 ゴミを直接自分で搬入する場合、組合指定の容器以外のものを使用した場合は、一口当り五円を徴収いたします。

その他

1 家電製品（テレビ、冷蔵庫）ダンボールなどの紙製品、自転車などの粗大ゴミは不燃物といつしよに収集いたします。これ以外の粗大ゴミは収集いたしませんので絶対集積所に出さないでください。

瓦谷でも機械化が実現

2次構、水稻協業組織



トラクターも始動開始、うしろは工事中の格納庫

経営の合理化をめざし第二次農業構造改善事業に取り組んでいる瓦会の両桁・山寺地区に水稻協業組織が設立され、今月末の事業完成をめざし着々と整備されつつある。

計画では、瓦会地区に三つの水稻協業施設が作られる予定ですが、まず両桁・山寺地区の関係農家三十三戸で話がまとまり瓦会第一水稻生産組合が設立されたもの。

第一水稻生産組合の総事業費は一三、〇六二千円。事業内容は、五七馬力のトラクター一台、二条植の田植機二台、同四条植二台、二〇〇平方メートルの育苗施設四棟、一八九・八一平方

メートルの農機具格納庫一棟。昨年の十一月にトラクター一台、田植機四台が購入され、農機具格納庫、育苗施設の工事も今着々と進んでいる。

トラクターの運転手も二回にわたる講習をうけ、また組合員も育苗及び田植機械の講習が行われて、今期の農作業から耕起、代かき、育苗、田植と一貫した農業経営が行われる。

すでに水田耕起の取りまとめも行われ、早くもトラクターによる耕起が行われている。

瓦会地区の農家では、いま所得増のために第二次農業構造改善事業に意欲的に取り組んでいる。

町にも県営事業

今年度分 13.4 ha

園部川着工する

園部川地区の県営は場整備事業がこのほど着工しました。

この事業は県営事業として実施されているもので、事業面積は約一五八ヘクタールにおよびます。事業区域は東成井から柴間、真家に至る園部川流域のほ場で、町でははじめての県営事業です。

総事業費は五億八千万円（そのうち国県補助七〇パーセント）の五年計画で行われますが、そのうち今年度は事業費五千万円で一三・四ヘクタールが実施されます。

この県営事業の計画区域は、国営石岡台地農業水利事業の受益地になっており、将来はこの事業から取水することになります。

なお、同じく国営事業の受益地になっている園部川右岸地区（東山崎地内一五ヘクタール、石岡市と共同施行）と恋瀬川上流地区（恋瀬川流域約三六〇ヘクタール）の県営事業がそれぞれ五十一年度、五十二年度着工を目前に現在調査設計が行われています。

八郷町の豚の飼育頭数は、県下最大の頭数を飼育しており、豚のフン尿、悪臭、ハエが多発し、一般の人たちにたいへん迷惑をかけていることは、皆さん周知のとおりです。

このため、フン尿は産業廃棄

ブタ公害にクイックドライで対処

フン尿はプラント加工し、再利用が可能

物とみなされ、現在では警察から警告されております。

そこで、町では公害のない畜産ということで、新しい方法を試みている秋田県井川町の養豚経営を視察し、検討を重ねてきました。

このフン尿処理は、豚舎に秋田県から産出するクイックドライ（これは特種の泥岩を粉碎したもの）を散布するという簡単なもので、散布することによって悪臭もハエもフン尿もいっしょに処理できるというものです。

法を取り入れ実施しております。町としても、五十一年度の事業として取り入れるため、八郷小桜両農協並びに養豚農家と話し合いの上推進して行きたいと考えています。

また、豚のフン尿をプラント

その上豚舎が乾燥するので、豚の健康にもたいへんよいということ。実際に使用していることについては、昨年の十月七日NHKのテレビでも放映されており、近くでは、岩瀬町大泉の中島種豚場において、この方

で処理し、加工したものは、有機質肥料として各種農作物にいい成果をあげておりますので、町としても各種の試験ほ場などを設置して利用の推進につとめる方針です。



猪内にダムはできるのか

町政全般に熱心な質問

青年議会

二月十日、役場議場で青年議会が開かれ、青年団の代表十八名の人たちによって町政全般にわたる質問があり、町長以下関係課長らが答弁に当った。これは、議会を通して青年に町の実体と地方自治についての関心や正しい認識をもたせ、また町の将来によせる青年の抱負と希望を発展させて、青年自身の向上と青年活動の推進をはかるために、町社会教育課と青年団の企画で行われたもの。

議会での質問内容は、公害から住宅、医療問題など町政全般にわたる質問が行われ、青年たちの町政に関する関心の深さを示していました。

議会での質問の一部と解答を抜粋して紹介します。

総合病院の誘致計画は

下林 名取不二夫

町には病院が数えるほどしかない。交通事故など、ほとんどの緊急の場合石岡などの病院にたよっている現状である。住民の多くは、大きな設備のとの



った病院を期待しているが、町長——総合病院はノドから手



が出るほどほしい。が現実の問題として、医師の確保などむずかしい点がある。地方の総合病院の多くは医大の附属である。医大と手をつなぐことができるかどうか、総合病院を作るか

ギとなっている。ふだんの病氣やケガは、石岡や土浦、友部に総合病院や個人の普通病院もあり、それらを利用できるので、一応これに対処できると思われる。いま一番困っているのは、夜間の救急業務、日曜祭日の救急医療の問題です。これにはいろいろ問題も出ているので、今後よく検討したいと考えている。なお、まだ具体化していないが、石岡に保健所が新しく建てられるので、これを利用して、

医師会と協同で休日診療所を作る計画がある。とりあえず、総合病院に手をのばす前に夜間の緊急医療体制を解決したい。

猪内へのダム

建設は本当か

猪内 関 謙次

猪内にダムが作られるといううわさが流れており、農業を営む人たちが大きな不安をもっている。ダムは本当に作られるのか。ダムでなく他の方法で解決できないのか。

町長——霞ヶ浦用水事業に伴なう猪内へのダム建設問題については、猪内と鯨岡の間に調整池を作る場合はある。これは霞ヶ浦の水も絶対量がたりないので、農業用水を最高に使う時点でたりにくくなる水を、使わない時これを調整池に入れ、必要な時にこれをおぎなおうとするものです。町でも将来は水不足になることはほぼ確実で、深井戸の水も現在枯渇現象があらわれている。猪内にも何か行っている話ですが、猪内では調整池の設置を歓迎していいようです。みなさんがどうしても作らないでほしいというならば、みなさんの考え方にそように農林省の方に折衝しようと約束してある。



は調整池の設置を歓迎していいようです。みなさんがどうしても作らないでほしいというならば、みなさんの考え方にそように農林省の方に折衝しようと約束してある。

林保育所が完成する

完成のまたれていた林保育所がこのほど完成し、3月1日落成式が行われた。

工費は2,250万円。子供たちの保育環境も考えられ、建物にも細かい配慮が配られています。



教室には扇風機や採光用の窓も

落成式であいさつをのべる町長



八郷の水もここ十年か二十年の間に不足するとは考えておりませんが、この事業の取水権を確保しておきませんと、町の将来に悔をのこす、こういう考えで私はこの問題に真剣に取り組んでいる。

養豚団地を作り

公害の追放を

瓦谷 鈴木隆夫

家畜公害が問題となっているが、町では集団家畜団地を作る計画はないのか。

町長——ブタ公害については、五十一年度から全力投球で着手



したいと考えている。集団団地については、公害に対処する施設を考えてからでないと、かえって公害を大きくする心配がある。ふん尿の処理施設がととのわないと集団家畜の飼育は危険のように思う。

新興住宅地の

上下水道問題は

南山崎 飯田 誠

若者を町に定着させるために工場誘致が必要だと考えるが町の考えは。また園部方面に住宅団地が増えつつあるが、人が増えれば学校、下水道、上水道の

整備などいろいろ問題があるように思うが……。

町長——無公害の工場誘致という考え方が、現実には無公害の工場誘致が、現実にどれだけの可能かというところにある。そういう工場があり、公害が発生しないという見通しがつけば便宜をはかるつもりでいる。

住宅問題ですが、これは強制的におさえることはできないので、現在は宅造の段階で一定以上の宅造をする場合には、上下水道など現在可能な範囲でそれ

もっと簡単に

学校の体育館借用

片岡 大聖寺敏雄

社会教育関係いろいろな団体があると思うが活動状況がわからない。社会教育関係の広報を出したらどうか。次に公民館、体育館の使用についてですが、一般に夜は十時までとなっております。また体育館を借りる場合には、体協とか町の団がないと借してくれない状況である。青年団の申込みで借りられるようにならないか。

教育長——体育館使用については、管理を一切学校にまかせてあるので、こういう話が出たという話を話しておく。なお、一月から警備会社が学校の警備

らの整備を義務づけている。県の許可を必要とするような大きなものについては、そのような方法をとっているの、ある程度の対応はできていると思う。



しかし、学校問題まではそういかないの、施設などある程度の公共投資は必要になってくるし、住民の負担になることはいなめない。現在はこのような方法で行くほかない。

にあたっているの、今後いろいろ問題があるかと思うので学校と十分連絡を取ってやってもらいたい。

公民館長——広報関係ですが、

従来は広報を利用してしたが、やはり不十分なので、五十一年度から最低年四回位公民館広報を出したいと思う。公民館の使用ですが、青年



団だけ認めることはできないし毎晩十一時十二時まで管理者が職員が責任上のこつていなければならず、いろいろ問題がある。今日はこういう理由で十一時まで使用したいといつてくれれば、ケースバイケースで相談にのりたい。

園児たちが新しい保育所に入ったのは3月5日から。まわりのものすべてが新しい保育所に子供たちは大喜び、先生の言葉もちょっと耳に入らないようです。



遊ぶ子供たちも大変楽しそう

汗を出せちえを出せ

南中業間体操で表彰うける

南中学校(校長太田豊 生徒数二九人)では、このほど財団法人日本学校体育研究連合会の表彰を受けた。同連合会は、文部省の後援により保健体育の向上を目指し指導に当たっている団体で、同連合会からの表彰は、県下で南中が初めてのものである。



同連合会の表彰基準は、「保健体育と他の教育活動が調和し教育に効果をあげているもの」「保健体育施設が学校の実情に応じ整備活用されているもの」

「教科外における保健体育の指導計画が綿密に立てられ、継続的に指導の効果をあげているもの」と大変きびしい。

献血者に金杯贈る

八郷ライオンズクラブ

八郷ライオンズクラブ(滝田 宣弘他三六名)

では、年一回ほど採血車を呼び献血運動を行っていますが、このほど、町内の五回以上の献血者五〇名に、同クラブから献血功労の金杯が贈られました。

金杯は、クラブのマークとともに献血功労と入ったりつばなもの。

写真は、献血者を代表し、クラブ会長から金杯を受ける町長。



なお小学校の部では、水戸の常磐小、旭村の旭小もいっしょに表彰を受けた。南中の特色は、二時間と三時間目の授業の間に二〇分の業間体操を入れ、それをうまく授業に生かしている点である。同校の業間体操とは、タイヤ飛び、はんと棒、高低鉄棒、

平均台といった軽い運動を休み時間に取り入れ、気分転換をはかり授業の能率をはかるとともに運動不足を補おうとするもの。四十七年から三年間、同校は県教育委員会指定の体育実験校にも指定され、好成績を残している。グラウンドには「汗を出せちえを出せ」の大きな看板とともに、四十九年に作られたトレーニングコースがずらり、一日おきにこのトレーニングサーキットを使い、全校生徒によって業間体操が行われる。「次の時間に頭がすっきりする」と生徒にも好評である。

毎月開設中

母子保健教室

母子保健教室は異常児出生防止を目的として、昭和四十三年に開設、産婦人科医による診察及び歯科医の検診と併せ、個別指導が行われている。

母子保健教室は毎月、妊婦検診は偶数月に。外で働く人が多いせい、出席者が年々少くなっているようだ。母性の健康こそ、心身共に健やかな子を生み育てる基礎である。

妊婦自身は 물론、家族やまわりの人の温かい協力で、この母子保健教室に多数の参加を望む。写真は、二月十七日社会福祉センターで開かれた母子保健教室。



母乳栄養

見直そう

三カ月の乳児の健康相談の中から乳児の栄養についてみると母乳三二%、混合二四%、人工四四%で母乳を飲まれている人は非常に少ない状態です。

「どうして母乳がよいか」

母乳の中には免疫抗体があり母乳が腸の中に入ると腸の中に大腸菌などの細菌を入れない作用をします。また、大腸菌に対し、非常に強いので、新生児が腸炎をおこしたり、敗血症になったりする事の予防が出来ます。

この様な免疫体は分娩後一週間位で出て来る初乳に非常に多く含まれているので、一カ月半位は母乳以外のミルク・牛乳は与えない方がよいのです。それは、生後一カ月位までは、腸は蛋白を分解できないで吸収しますので、ときには牛乳がこい、またはアレルギー性体質になり易いのです。

一カ月半位は絶対に母乳で育てる様努力して下さい。母乳育児はいろいろと利点があり、中でも母と子のつながりの原点、人間としての心理的、情緒的活動の基があるなどから、ぜひ母乳育児をおすすめします。

ほぐちの クラブ活動

恋瀬小学校「手芸クラブ」

私達のクラブは、四年生が七人、五年生が四人、六年生が四人の計十五人で、人数の上からみれば、だいたい中位のクラブです。

まず、四月の初めに、クラブ長、副クラブ長、書記などの役員を決め、一年間の活動内容について話し合いました。そして、一学期は縫い物、二学期はリボンフラワーや編み物、三学期は縫いぐるみなどのぐるみなどの飾る物を作ろうということに決



作品のぬいぐるみを手に手芸クラブ員と市村先生

上がったので布を裁ち、次の週から縫い始めました。このときは、五年生が一番速く仕上げましたが、四年生もクラブは初めてなのに出来上がりも速く縫い方がとても上手なのはびっくりしました。六年生は、エプロンを縫う人もスカートの人も少しむずかしいデザインだったので、とても遅くなってしまい一学期に仕上がらなせんでしたが、夏休み中にすっぱり仕上げました。

生にばかり頼らず、友達同志で研究しあって、自分達の力でやっていたと決めました。

一学期は、さつそくスカートとエプロン作りのグループに分かれて、仕事に取りかかりました。第一・二週目は、どんな形のスカートやエプロンにするか図に書いたり、サイズを計ったりして、どんな布をどの位用意したらよいかなどいろいろ計画をたてました。三週目ごろになると、計画もすっきりでき

めました。それから、私達はみんな一年間の約束を話し合い一度始めた物は最後まで仕上げること、また先生にばかり頼らず、友達同志で研究しあって、自分達の力でやっていたと決めました。

二学期は、リボンフラワーを作ってから編み物をしました。リボンフラワーは、水仙、バラ、ガーベラ、クロッカスなどです。苦心したことは、くきにテープを巻いたり、バラなどの花びらをつけることでした。

編み物はマフラー、手袋、ベストなどいろいろな物を編みしました。編み方をくふうしてとてもきれいにでき上がりました。

現在は、縫いぐるみや編みぐるみの人形を作っています。もう、リス・クマ・トラなどの縫いぐるみができ上がり、ミシン室のケースに飾ってあります。まだ顔だけしかできていない人もありますが、卒業の頃までにはきつと出来上がるでしょう。

私達のクラブは、とっても楽しいです。これからもみんな協力しあい、ますます楽しいクラブにしていきたいと思っています。

いり豆腐

食生活改善推進員 田村文子



人は常に体を弱アルカリに保つことが、健康であるといわれます。肉や魚は蛋白源として必要ですが、酸性食品なのでアルカリ性をとる必要があります。蛋白の多い弱アルカリ



性である豆腐と、アルカリ性の多いしいたけを使ってみました。

▽材料（4人前） 木綿豆腐2丁、干しいたけ中8枚、干しいたけのつけ汁カップ2、油大さじ2、砂糖みりん各大さじ2、正油大さじ3

▽作り方 ①干しいたけをカップ3弱のぬるま湯に表面が水

腕を競う

武道大会開かる

第十六回町武道大会が、去る二月二十六日、柿中体育館で開かれた。大会での種目は、柔剣道の個人と団体戦。一般、高校、中学校生徒が参加し日ごろの腕を競い合った。

大会での成績は次のとおり

- ▽剣道 団体戦男子二年の部
 - ①園部中 ②有明中 ③柿中・有明中B 同一年の部
 - ④南中A・柿中A 個人戦
 - 男子二年の部 ①小沢弘智（南中）②入江章（有明）
 - ③桜井義規（柿中） 同一年の部
 - ④花和薫（園部）
 - ②友部敏英（同）③皆川貞二（同） 同女子二年の部
 - ①渡辺優子（柿中）②飯田

- 則子（同）③嶋田みちよ（同） 同一般高校の部
- ①荒木忠義
- ②小松崎敬司 ③園部隆夫
- ▽柔道 団体戦男子二年の部
- ①南中A ②有明中 ③南中B・柿中 同一年の部
- ①園部中A ②南中 ③有明中・柿中B 個人戦男子二年の部
- ①磯崎真幸（南中）②木崎源平（南中）③佐藤清二（南中）
- 同一年の部 ①山里茂（園部中）②高橋浩之（南中）③助川章（同）



- 社会福祉センターへ
- ・ぞうきん百枚 金指少年団（関口菊枝他九名）
- 自然休養村センターへ
- ・掛時計一台（八千円相当） 南青年団（団長松崎守男）

まことの伝説

火あぶりにされた神官

いつの時代か明らかではないが、柿岡へ軍勢が来てこの辺を治めていた丸山の館主に立ち退きを命じた。丸山には延喜式内の名神といわれる佐志能神社があり、館主はその神官であつたが、その命令には頑として応じなかつた。「この附近、小初瀬川から北は大昔から佐志能神社の神領であつて、国司からも許されている。それを横領しようとするのは間違ひである」と、その命令を断わり、攻めて来る軍勢を予想し、郷民を集め兵糧を運んで戦いの準備をした。

この丸山は館とはいへ、南から東西にかけて絶壁がめぐり、麓の流れを利用した八重の長堀もあり、背面の広場には厳重な柵もある。自然のりっぱな砦となつてゐた。それに武装した農兵が籠つたと容易に落すことができない。柿岡台に陣を張つた軍勢と丸山の守備兵の戦いが何日か続いたが、結局丸山砦は落ち、神官は捕えられ近くの高台で「火あぶり」の刑に処せられた。

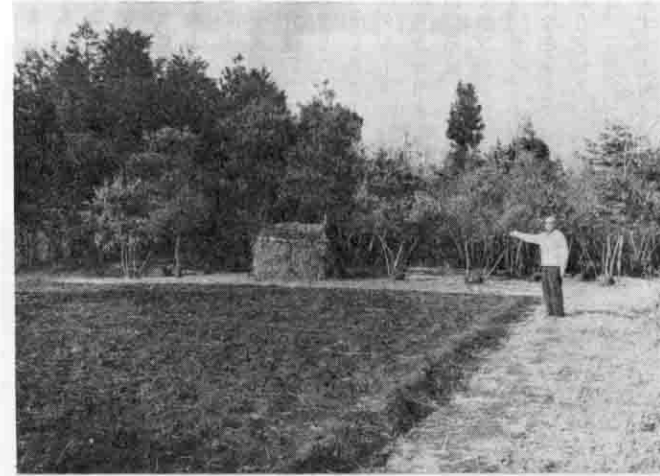
この合戦で、神社の建物や什

あぶり台という地名が残つてゐる。たぶん神官はそこで処刑されたのであろう。

推測を加えてみると、この戦は建久の頃(一一九〇—一一九八年)頼朝から常陸守護職に補せられた八田知家の子小田時知が、この地方を預けられはじめ

て柿岡城を築いた時の出来事であつたと思われる。現在の諏訪神社はその小田時知の創建といわれ、また、その頃できた片野城は、本田一族八代将監の築いたものという。太田三葉や梶原政景がこの地方へ来たのは、それより三七〇、八〇年も後の永祿の頃である。

なお、恋瀬川が今の名になつたのはずつと後に、その頃は小



器、参道の西側にあつた神官の住居や古文書もすべて焼かれてしまつたといわれる。今も高友から野田に通ずるあたりに、火

初瀬川といったらしい。丸山の争いを合戦でなく訴訟であつたという説もあるが訴訟であれば神主が敗れたとしても、相手の要求に応じ身を退けばそれで済むはずで、建物や什器も焼かれ、その上神主が火あぶりにされたとなれば、やはり合戦と見るのが妥当であらう。

写真は、案内してくれた滝田源三郎氏と火あぶり台。瓦谷にぬける県道から南へ一〇〇メートルほど入つた山の中に火あぶり台があり現在もそのまわりにはいくつかの塚が

お知らせ

結婚相談は

農地課まで

町では適齢者のみなさんのために結婚相談所を開設し、二〇名の相談員が配偶者の仲介に努力しております。

なお、石岡市民会館にも石岡

地方結婚相談所を開設するなどできるだけ広い範囲からふさわしい人を紹介し、理想の配偶者似合いのカップルを誕生させ、幸せな家庭を営んでもらえるよう努めていきます。

結婚相談についてはお気軽に農地課、または、もよりの結婚相談員までご連絡ください。



短歌

吉田次郎 選

凍てし夜に込み忘れたるサボテンのピンクの蕾哀れしほみぬ
細谷 金沢 翠柳
丹精に耕せし畑も乾ききり青みきたれる麦はまばらに
大増 青木 祥太
我家の前に聳える加波山を染めて夕日が眩しく光る
大増 岩田盛男(中学生)

選者のことは 紙面に限りがありますので、投稿者全部の作品を載せられませんことをご承知下さい。

俳句

滝田玉水 選

ことごとく筑波へ馳すや蛙焼く火
東山崎 荒井 岳山
故郷を出るも戻るも紫雲英道
大増 入江 君子
受験子へレンジ深夜の音もして
小倉 植木 緑穂

俚謡

林 嶺明 選

聞こう語ろう生活の知恵を亀の甲より歳の功
小幡 鬼沢 功
ハイと答える素直な心渡る世間に波立たず
根小屋 島田 順風
赤い頭巾で魔の踏切りを諭す無言の袈裟地藏
下林 加藤 山百合